

結 果 報 告

大会名	平成26年度第66回全日本総合ハンドボール選手権大会				
競技日	12月26日 (金)	試合番号	3-4	回戦	3回戦
種別	男子・女子	会場	枇杷島SC ・ 愛知県体育館		
Aチーム			Bチーム		
トヨタ紡織九州レッドトルネード			トヨタ車体		
得点合計	小計		小計	得点合計	
24	9	前半	15	26	
	15	後半	11		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名 郡司 恵太

準決勝への座をかけた本日最後の戦いはトヨタ車体のスローオフで試合開始。試合開始早々、トヨタ車体は4番熊谷の連続得点を皮切りに、一挙8得点をあげて主導権を握る。トヨタ紡織九州は完全なシュートチャンスを作るも、相手GK21番甲斐に阻まれ、最初の得点をあげたのは試合開始から10分がすぎたところであった。トヨタ紡織九州はその後GK16番下野の好セーブと、10番海道の投入でリズムを取り戻し、点差を縮めはじめる。一時5点差まで詰め寄るものの、トヨタ車体の連続得点により流れを打ち切ったところで前半終了となった。

後半はトヨタ紡織九州が前半の仕返しと言わんばかりに、反撃ののろしをあげる。立ち上がりからポストをからめた多彩な攻撃で一挙3連続得点。退場者を出すものの、その勢いで一気に2点差まで詰め寄る。その後は両チーム一進一退となり試合時間が進んでいく。しかし体格でまさるトヨタ車体は力強いプレーで退場を誘い、じりじりと点差をひろげ、残り10分の時点で5点差まで押し戻した。このまま試合終了までいかかと思われたが、今度は逆にトヨタ車体に退場者。このチャンスを逃すものかと、トヨタ紡織九州が猛烈な反撃。一気に流れを引き寄せ、終盤に19番鈴木のサイドシュートで1点差までつめよった。残り時間1分を切った所でトヨタ車体がタイムアウトをとり、どちらに軍配があがるかわからない試合に会場全体が息を呑む。タイムアウト後はうまく時間を使い、最後の最後にトヨタ車体14番光増がダメ押しのゴールで試合を決定付けた。